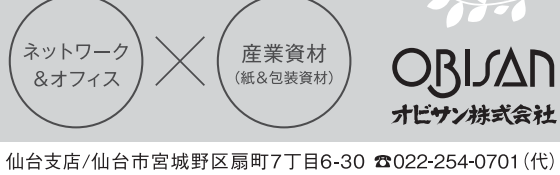


これからの、100年。
変わりゆく勇気、変わらない想い。



仙台支店/仙台市宮城野区扇町7丁目6-30 ☎022-254-0701(代)

2023
2月6日
月曜日

建設新聞

発行所 建設新聞社
本社 仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(22)4601
青森支局 青森市古川1丁目21-11 TEL017(722)8631
岩手支局 盛岡市菜園1丁目3-6 TEL019(651)8045
秋田支局 秋田市山王4丁目3-10 TEL018(862)6921
山形支局 山形市松波1丁目10-16 TEL023(641)2800
福島支局 福島市宮下町17-20 TEL024(534)0138
東京支局 東京都江東区豊洲1-3-1 TEL03(5547)1367



一夜で国内最大級の交差点に鋼橋

東北整備局 仙台拡幅・箱堤交差点立体化



ICT駆使し迅速・正確に架設

東北地方整備局が、仙台市で進める国道4号仙
台拡幅事業の一環「箱堤交差点立体化工事」の現
場で2日、高架橋の架設作業が行われた。上部工
を担当する高田機工が計画段階からICTを活用
して完成イメージや施工状態をデジタル技術で可
視化するなど、迅速かつ正確な架設を展開。大勢
が見守る中、送り出し工法で、一夜にして国内最
大級の交差点に巨大な鋼橋が架かった。



送り出しの様子

国道4号仙台台拡幅は、交
通混雑の緩和や交通安全の
確保が目的。1989年から
仙台市宮城野区苦竹1-C
山崎交差点間の延長2.0
8km、2006年度から
山崎交差点と鶴ヶ谷交差点
間の延長1.8kmを対象
に6車線化事業を行い、そ
れぞれ07年、20年に完成し
た。19年度からは、慢性的
な渋滞が発生している国内
最大級の交差点「箱堤交差
点」の立体化工事に取り組
んでいる。

立体化工事は、国道4号
の御町交差点と苦竹1-C間
約1.4kmの中央分離帯
部分に高架橋を構築。下部
工は、橋本店(南側)と後
藤工業(北側)が施工し、
高架橋は橋長285.5mの鋼
5径間連続橋(4車線)で
支間長は48.5m、61.5m、
61.5m、48.5m、最大支間
長となるP2/P3橋脚間
で箱堤交差点を跨ぐことか
ら、交通への影響を最小限
とするために迅速な施工が
可能な送り出し架設を採用
した。24年度の供用開始を
目指している。

送り出し架設が行われた
2日、現場が公開された。
当日は、報道陣や東北整備
局の若手職員のほか、多く
の一般市民も作業を見守る
など注目の高さが高さがあ
げた。作業が始まったと毎分
1kmのペースで冬の夜中に
鋼橋がせり出しはじめ、翌
3日の早朝までに約1000

トンネルを通過し、現場を
確認
現実と仮想空間の両方で現場を確認
る。橋脚から約30
分ほど待っている
状態が、21日の夜間
に降下作業を行う
高田機工は、正確
かつ迅速な作業に向
けて、IoTやAI
などの技術を用いて
仮想空間に現実の環
境を再現するデジ
タルツインを駆使し
た。橋脚やジャッキ
に設置したセンサー
で計測したクラウド
に集約し、それをワ
ールドマップでモニタリ
ングすることで目に見えら
ない詳細な状態を把握。事
前に作成したMRの施工シ
ミュレーションも同時に再
生し、差異が無いかも監視
した。また、計画段階から
CIMやMR技術を活用し
詳細な検討を重ねた。
これらの技術により、熟
練技術者でなければ把握で
きなかった従来の2次元図
面による施工計画や標準な
どの複雑な数値管理を視覚
化。結果として生産性向上

特定都市河川を推進

流域治水の本格実践へ 国交省

国土交通省は、流域治水
の本格的な実践に向け、特
定都市河川の指定を進める
ことや、新たな広報・普及
活動を展開することなどを
関係省庁と申し合わせた。
特定都市河川に指定され
た流域では、雨水貯留施設
の整備などで国庫補助や固
定資産税の優遇措置を受け
ることができるようになる
。特定都市河川は、20
04年に施行した特定都市
河川浸水対策法に基づくも
の。21年に流域治水関連法
として改正し、都市部に
限っていた指定要件を全国
の河川に拡大。狭窄(きよ
うさく)部で河道整備が困
難だったり、本川からの
バックウォーターなどが想
定される河川を対象に加え
た。

角川、千葉県の一宮川など
で指定に向けた手続きを進
めている。
新たな広報・普及活動は、
関係省庁と連携して実施す
る。具体的には、ポスター・
ロゴマークの作成、サポー
ター制度や、評価制度の創
設などに取り組む。
国交省関連の取り組みで
はこのほか、多目的ダムな
どの治水機能強化とカトー
ン・ニューラル、地域振興
を一体的に行うハイブリッ
ド

22日にオンライン開催

けんせつ小町サミット

日本建設業連合会は、全
国のけんせつ小町チームが
交流するイベント「けんせ
つ小町サミット」を22日に
開催する。この日は、全
国各地から約100名の代
表者が参加し、けんせつ小
町の現状や課題、今後の
取り組みなどについて、活
発的な議論が行われる。こ
の日は、けんせつ小町チ
ームの代表者が、けんせつ
小町の現状や課題、今後
の取り組みなどについて、
活発的な議論が行われる。
この日は、けんせつ小町
チームの代表者が、けんせ
つ小町の現状や課題、今
後の取り組みなどについて、
活発的な議論が行われる。

建設管理センター東日本事
業部は、2023年度の国土
交通大臣賞資格である土木、建
築など各施工管理技士の資格
取得に向けた合格対策講座を
東北各会場で開催する。前回
の1月の講座締め切り後も多
数の申し込みがあったため、追
加開催を決めた。
仙台会場は、2月21日(火)
から宮城自治労会館で開催す
る。すでに申し込みを受け付
けており、合格責任指導体制
のため各講座とも定員は50
人。定員制につき早めの申し
込みを呼び掛けている。
ここ数年継続となっている

合格対策講座を追加開催

建設管理センター東日本事業部は、2023年度の国土交通大臣賞資格である土木、建築など各施工管理技士の資格取得に向けた合格対策講座を東北各会場で開催する。前回の1月の講座締め切り後も多くの申し込みがあったため、追加開催を決めた。仙台会場は、2月21日(火)から宮城自治労会館で開催する。すでに申し込みを受け付けており、合格責任指導体制のため各講座とも定員は50人。定員制につき早めの申し込みを呼び掛けている。ここ数年継続となっている

宮城県石巻市、東北工大 まちづくりなどで相互連携

宮城県石巻市と東北工業
大学(渡邊浩文学長)は、
景観、町並み保全およびま
ちづくりに関する事項など
を盛り込んだ包括連携協
定の締結式を2日に石巻市役
所で開催した。
東日本大震災以降、雄勝
町の復興復興に関して連携
を図り、主にまちづくりや
伝統工芸品について活動を
行ってきた両者が、こ
のほど市内全域を対象
とする全面的な連携協
力を進めることになった。
市と大学がそれぞれ
有する資源を積極的に
活用し、相互に連携
協力すること、地域
の人材育成と地域の活
性を図ることが目的
。連携事項は▽地域の
観光資源を活用した地
域活性化▽景観、町並
み保全およびまちづく
り▽地産地消の持続的発展
▽産業振興全般▽防災・
減災対策▽SDGsの普
及・啓発▽その他協定の
目的を達成するために必要
な事項および調査研究に
関することの6点。
協定式には市から齋藤正
美市長、岡浩復興企画部長
、佐藤政孝雄勝総合支所次
長、大学側から渡邊浩文学
長、佐藤孝大理事局長、
山田一裕地域連携センター
長が出席した。
協定書に署名を終えた齋
藤市長は「本市のさらなる
活性化、相互の発展を促
してまいります。また、地域
経済の立て直しに関しても
一層の協力をお願いした
い」と期待を込めた。
続けて渡邊学長は「防災
、減災、観光資源を活かし
たまちづくりをともに考え
、送り込んでいきたい」と抱
負を語った。

講師が直接指導を行う。応用
力が求められる実地内容を加
味した新制度の試験にも対応
できるようにポイントを分かり
やすく解説し、短時間の学習
で合格を支援する。
開催するのは「土木」と「建
築」のほか、「電気工事」「管
工事」「造園」「電気通信工
事」の各施工管理技士の合格対策
講座。受講料は各施工管理技
士が1級16万5000円(第
一次)、2級15万4000円(第
二次)、2級15万4000円
(筆記)。
また、給水装置工事主任技
術者は12万1000円(管工
事施工管理技士取得者9万9
000円)となっている。
同講座は、公的助成金にも

講習会の様子

令和5年度1・2級施工管理技士合格対策講座 全国50会場

【開催講座】
土木施工管理技士
建築施工管理技士
電気工事施工管理技士
管工事施工管理技士
造園施工管理技士
電気通信工事施工管理技士

初回日程
仙台会場:2月21日(火)
宮城自治労会館
東北各県の日程・会場については、お
問い合わせ下さい。
責任指導のため定員50人
★公的助成金適用講座

受験資格
(1級)
●2級合格者-第一次試験は経験不問
(最短25歳以上で第二次試験まで可)
●大学、短大(高専)卒以上は27歳以上
(指定学科卒は25歳以上)
●高卒-30歳以上(最短26歳以上)
●中卒-30歳以上(最短28歳以上)

(2級)
●17歳以上...第一次試験は経験不問
(最短21歳以上で第二次試験まで可)

お問い合わせ・お申し込みは
総合受講受付フリーダイヤル
0120-14-5353
http://www.ecc-jp.com

建設管理センター
東日本事業部
〒980-0804
宮城県仙台市青葉区大町1丁目2番1号 ライオンビル4階
TEL.022(211)5353 FAX.022(211)5369

燃え広がらないから安心!

断熱性 0.022w/mk 熱伝導率
難燃性 26% 酸素指数

難燃性、断熱性、防水性を高次元で実現した
新世代 建築用 難燃断熱ボード

ポリイソシアヌレートフォーム(PIR)断熱ボード
サーマックスCW

防火法における
指定可燃物
対象外

お問い合わせは
0800-170-3971

販売元
株式会社 イノアック コーポレーション
本社 〒141-0032 東京都品川区大塚2丁目9番3号 大塚ウエストシティビル4F
TEL.03-3492-9178 FAX.03-3492-9591

製造元
株式会社東北イノアック
本社 〒987-0005 宮城県仙台市青葉区北郷字二下28番地
TEL.0229-34-2111 FAX.0229-34-2303